

犯罪行為自白と知れるボロ儲けのからくり

よりど麗 きくじ

本組へ六千五百円の現金仕事で鉄筋手元に行つた時の話。

仕事が終つて墨書きの電車の駅まで送るわと、井和鉄筋のオヤジの息子が言つて、帰路につくことしなつた。この日は三人注文出していたが二人しかできず、「本組モリセがこんなやなあ」と、この息子が感心して、いた日である。それでも、行つた二人が鉄筋仕事をよく知つて、いる連中だつたので、四時半頃には仕事左片付けてしまつた。

現場のハコへ休憩所へ着替えの最中の二の息子とワシとの会話。

息子「いかに本組を儲けどんぬやなあ」

「安心した」とさ独りつぶやき――

ワシ「せら一人二千円ハネたかて毎日一

五〇人から一七〇人あつかうのやから――

得意の商業計算を説明しようとすると、さうぎるが「とく一

息「何言うどんゆん、うちどこ一た千円払こるねんで」

「本組の事務所までおかえに行つて一千円取られまんのか?」

鬼「そや。車で送つて来てもらたら一万一千円払わなならん。……一万一千円いうたら鉄筋屋の払えろギリギリやしなあ、とかく、あくたコンクリ打ちやと決まつたら手を保りなくやないかなあ」

「とにかく、西成のセンターから厄ヶ崎の事務所まで、人間をバスで運んでくるだけで二千五百円の儲けとはボロすぎません」
息「まあ運送屋やなあ、あれは。よう儲けどんのかくて、最近、コンクリート建ての

ええ事務所建てどうがなし」

「ありあ、ほんまの一割以上ビンハネ」

たらいかん、と法律で決まつとりまんねで

息子：「にが笑いくて答えず――」

息「まあボロイ商売には違ひないけど、資

金がいるわなあ」

ワーマスコミでケラ金がボロすぎる商売や

と騙いでいるけど、あんなもん足元にも寄

れんくういん夫出しひはボロイ商売だつせ、

資金のパトロンくらいすぐみつかりまっせ。

こんだけ儲かつたら、銀行の方から金借り

てくれまつてくるに決まつてまんがな」

息「そやなあ」

以上、実話です。

(3) 本組は世間並の工員用給食屋弁当を食わ

るので、釜ではとてもぐらいの人気があつて、

毎日、一五〇人から一七〇人出す大手の人

夫出します。マイクロバス八台、大型バス

一台を所有しております。

弁当は、請求書を見た人の話によると、

西成警察です。

第一部終り、第二部をどうぞ。

内味二百五十円、容器保証料五十円の計三百円とのことです。

帰りの交通費は、現場が京都や明石といつた遠い所で、二百円しか支給されません。本組の社長ヘアホツラさげた二代目一か言うには、「電車便なんか払わんでええで、鉄砲ヘ無貸乗車」で帰つたらええ、電車便みたいなもん払うことない」とのお告げ。

ボロイ商売でありますか、違法である事

は間違ひありません。もう少しほつきり言えれば、常習の犯人であります。それもかなり悪質です。

西以工務店の場合は

かのてから人夫出し屋から現場へ行く交通費を、遠近もある事だら、どういう風に決済しているのか不思議に思つていたが、西以工務店へ鉄筋屋の息子からの証言を得たので記しておく。

九月三日、本組から行つて、屋の休みの無駄話と、帰りに近くの国鉄駅へ送つてもらう車中の世間話から、少しまとめて聞く。息子「今、センターは忙がしいんかいな」オレ「みんな夏バテしてこもて、認定金で暮らす人間が多いさかい。夫人の車は丈さん来てまんなあ」

息子「今、なんぼ本組からもうどんねん」オレ「七千円と交通費二百円だすわ」

息子「俺と二今、本組に一万円払いよるんで

オレ「つい二ないだまで九千円やつたん遣りまんのか」

さんでつさかいな。せやけど、今日みたいと知りたいですぬ。六〇〇人の読者か知りませんか、アンケートを集めれば、そつと確度の高い情報を集まるでしよう。

以前、「渡せ」に書き送つた、ダイリンの手配古やるヨツチマンの手配料は又聞きで、あまり確度の高いものではありませんが、三新のオヤジの手元控きのそりたのも勘定をもうう時にチラツという程度でした。

宮本鉄筋の場合は、身内間係への出こ值で、れどもいくらでると、今回の共和鉄筋、西以工務店からの証言は、確度ほほ一〇〇〇と思つております。

本題の交通費についてはまだ詳細に解説

息子「うん、うちがた千円払うて、本組は六千五百円渡しよつたなあ」

ワシヒ一株り行つた近江本組の事務所にいかえに行って一万円でつか」

息子「うん、三千円ハネとるんやなあ」オレ「そやけど、坂口駅前の現場みたいに、毎日一五人そ高い人間屋うて採算合いまんのか」

息子「合ひんけど、請けおつた仕事はせなこや 아니。エエテばかり送つてきてくれるのならまだしモ、ハッカーなんて初めて持つたいう奴を鉄筋屋として送つてきよるからなあ」

オレ坂口の現場の時は、送りおかえのバス代、なんぼ払ろてまくたん」

息子「そんなもん取らせろかいな。あの大工事終わるまで、毎日、本組から一五人ぐらいい借りとつたのにし

オレ「いや、よそのオヤツサンに、送りおかえのバス代は別に取らせるいう話を聞いたオレ」

されざる所ですが、需給關係・力關係で決まっていう事をうかがわせます。
組合、ようけ人間を買ったからいつて、人天出しだけはかけてくれなり、と西似さん言ってあられました。

一見さんからはより高くなる

九月一四日に聞いた話をそのまま書く。

總の雑談。

職人、大体、おまえと一の人間は高すぎる。一人、一万二千円取りよる。

オレ「二ないだ、西以さんとこは一万円で借りてる、いうてはしまくたけどな」

職人「ワシが北加賀屋の尾竹鉄筋におつたとき、南港でダイキンの工場の土間スラブを請け負つたんやが、五人位ではどうにもなくらんので、二十日程、本組から一〇人借りとつた。その時、請求書に一人頭一万二千円つけてキよつた」

オ「人間、現場まで送つてたろううでつか
いな」
島「運転手おらん、いうから、こっちから
迎えに行つと、た・レ

オ「いつの話でつか」

島「今年の六月頃、ちょうど本組の飯塚で
殺人事件のあつた頃や。」

オ「あの時分やつたら単毎六千円でこたで」
島「井当サモで六千円やりとつたなあ。」

オ「しかし、そんな高い合払うて、合ひ

王人のか」

島「合わんけど、手がたりなんたら一万円
でそこ二万円でそ借りなくやあないがな」
しかし、こない高かつたらもう産えんな
あ、と話ことつた。

尾竹録筋は小さな舟前屋さんだそつで、
スラブだけ下請け的に受けたとつです。ダ
イキンの工場は、七〇メートル×ニ〇メ
ートルへちよつと間き違ひあるやもしくぬ
ガースパンでダブル配筋だったとあります。

出し値といつこそ、一見さんには高く、
なじみの得意先には安くしていろ事がつか
がえますか、なんともピンハネがきつすぎ
ますな。こんな話を集めて、一度、特集を
組みたいですな。

公務員さんの賃金観

今年の二月に、公共車両では労務単価丘
どのようにして決めるのか民間業者に、大阪
府建築部営繕計画課とりうどこうへ行つた
ことがある。その課のベラン氏のきくに
は、主として三省協定を基にして決め
るのだが、その方法、家については部外加
にな、ている、西成の賃価は、標準と併説
の二つを取り非常に難しくいじ

なにが難しい。今、不況で公務員のなり
キは多めはずだが、それであなた達の給テ
は下かづたが、多のアンコは鉄セメント
ではない。需給のバランスなんさで仕事並
を押しつけられてたまるか。